

## お洒落で便利なライドシェア

駐在員の住むイーストランシング市には、全米でも有数の大規模大学であるミシガン州立大学があります。生徒数は約4万8000人で新学期がはじまった9月以降、街は学生の活気で満ち溢れています。

最近、街でよく見かけるのが電動スクーターです。交差点付近やバス停近くなど至る所に設置されており、スマートフォンのアプリ上でユーザー登録し、QRコードを読み取ることで簡単に乗ることができます。料金は基本料金として1ドル、その後は1分につき15セントの使用料で、乗り捨ては自由。時速は30km弱ほどです。大学や街中でのチョイ乗りとして活用されています。

この電動スクーターのライドシェアサービスは「BIRD」社が、環境配慮や渋滞緩和などを背景として、2017年末頃にサンフランシスコで始めたサービスですが、1年足らずで一気に全米中に広がりを見せています。ミシガン州でも今年7月にデトロイトで導入され、その後、主要都市に広がっています。

学生に話を聞くと、「自転車やスケボーも悪くはないけど、こっちの方がクールだろ?」、「経済的だし、学生にとってはぴったりの乗り物。」とのこと。ランチに向かうビジネスマンは、「駐車場探しや料金を考えるとこっちの方が便利で安い。しかもクールだろ?」とのこと。新登場したお洒落で便利なシェアサービスが、車社会アメリカでのチョイ乗り需要を満たしています。

一方、一気に広がったこのサービスに対する課題も明らかになってきており、走行時の安全性や歩行者・自転車との兼ね合い、適切でない場所への設置・乗り捨てなど。増台のニュースがあったかと思えば、撤収のニュースもあり、サービスの拡大と規制やマナーの浸透のスピード間にギャップが生じています。

颯爽と風を切りながら移動し、さっと停めて目的地へ。

たしかに便利で気持ちの良い乗り物ですが、ミシガンの冬は長く、雪も多いので、その時期はどうなるのかが気になるところです。



街中至る所にある電動スクーター



オフィス街でも活躍中